

報道機関各位

県土整備部河川砂防課

十和田湖水位の低下に伴う今後の見込みについて

十和田湖の水は、子ノ口制水門から奥入瀬溪流に流れ、かんがい用水、観光放流などに利用されています。

6 月以降、降雨が少なく十和田湖水位が低下し、奥入瀬溪流への規程放流量が 7 月 24 日から確保できない状況となっております。

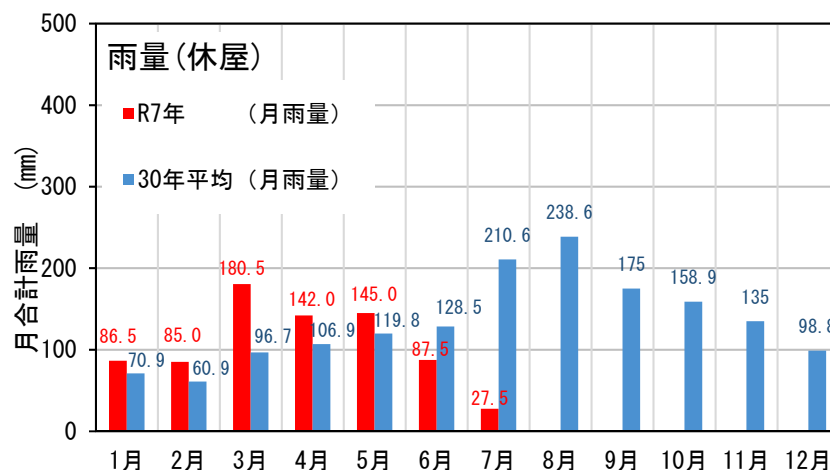
7 月 25 日に気象庁が発表している向こう 1 か月の天候の見通しでは、平年に比べ晴れの日が多くなり、気温は高く、降水量は平年並みと予想されています。

十和田湖の水位回復には、まとまった降雨を期待するしかありませんが、奥入瀬川の流水の正常な機能の維持のため、十和田湖水位の維持を行う必要がありますので、関係利水者等の皆様に対して、十和田湖水位等の情報共有を図るとともに、節水等の御協力をお願いしていきます。

○子ノ口制水門から奥入瀬溪流への放流量（7 月 30 日 9:00 現在）

放流量	規程放流量（4：30～18：00）
3.10 m ³ /s	5.2 m ³ /s

○休屋の降雨量（7 月 29 日現在）



報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部河川砂防課
担当者	ダムグループ GM 外川 幸久
電話番号	直通 017-734-9664
	内線 6736
報道監	県土整備部 理事 米田 均